

# 環境情報・写真データを用いたコミュニティ活性化支援に関する共同研究 ～川崎タイム・マシン～「環境」×「川崎の過去・現在」を対話する

学校法人国際大学 国際大学グローバル・コミュニケーション・センター(GLOCOM)

対象分野

低炭素社会の構築

循環型社会の構築

自然共生型社会の構築

安心・安全で質の高い社会の構築

## 概要

環境保全など地域社会の課題を解くための鍵として地域コミュニティの重要性が指摘されています。しかし、現代の地域コミュニティでは住民相互のコミュニケーションが活性化されていない現状です。

国際大学グローバル・コミュニケーション・センター（東京都港区）と川崎市は、「環境」を主要な切り口として、川崎市の過去と現在との比較を素材としながら地域社会におけるコミュニケーションの活性化促進の効果的な方法やプロセスの確立を目指し、2014年から研究を始めました。2014年度は、素材となる社会的リソースの収集・整理と社会的リソースの地域活用について検討しました。

収集したリソースをコミュニケーションツールとなるコンテンツに取りまとめ、ワークショップ等を通じて環境情報や写真データを用いたコミュニケーション活性化支援につながるよう取組を進めています。

今後、この研究を通じて、環境情報や写真データといった社会的リソースを活用し、地域コミュニティの活性化が促進されることが期待されます。

